

16年度予算特集

衛生費

前年度策定した「健康まえばし21」計画に基づく施策を推進するなど、市民の健康づくりを支援します。

生活環境では、家庭ゴミの減量・リサイクル化に向けた新たな施策として、プラスチックゴミのリサイクル推進、紙製容器包装の集団回収品目の追加、使用済み蛍光管や水銀体温計の分別収集・再資源化などに取組みます。また、月火曜の休日もゴミ収集を実施します。

老朽化した斎場を建て替えるため、整備基本構想の策定に取り組みます。

労働費

企業の即戦力となる人材育成を図るため、パソコン講習などのスキル

農林水産業費

アップ講座を新たに開催。勤労者のため、生活資金・住宅建設資金の融資のほか、仕事と育児の両立を支援するため、ファミリー・サポート・センターの利用促進に努めます。また、前橋テルサを雇用・能力開発機構から購入し、市有施設としての活用を検討します。

認定農業者や機械化組合などへの支援を引き続き行い、畜産関係では、高畠育成牧場の閉場に向けた準備を進めます。また、十一月の家畜排せつ物の適用開始に備え、施設整備補助の拡大などに取り組みます。

農業基盤整備では、早く協力して、ため池の護岸整備や農道の整備などを実施するほか、上細井地区の土地改良事業に新たに着手します。

商工費

中心市街地の再生を図るため、四月に設置した「にぎわい課を中心に（仮称）まちづくり」に「にぎわい再生計画」を市民や商店街、専門家の皆さんと策定するとともに、市民団体のネットワークづくりや活動の拠点となる「（仮称）にぎわいクラブ」を発足させ、具体的な活性化策を調査検討し、事業を進めます。

また、新たにホームページなどを活用して空き店舗情報の提供に取り組むほか、活気ある街づくりのためのイベント開催補助や中心商店街活性化特別資金融資を創設し、新規出店や店舗の増改築を行う市内事業者を支援します。

企業誘致の促進では、新たに市内企業が前橋工業団地造成組合の工業



商店街に「にぎわい」を(Qのまちイベント)

団地などを購入し、事業所を設置する場合なども用地取得補助や資金の融資を行う優遇策を講じます。産業振興では、新たに開業する経営者を支援するため、中小企業診断士によるアドバイザー派遣事業を始めるとともに、中小企業の融資枠を拡大します。

衛生費の主な事業		は新規事業
衛生関係		
さわやか健診・各種がん検診など	8億7,612万円	
法定予防接種、高齢者インフルエンザなど「健康まえばし21」の推進	3億883万円 122万円	
清掃関係		
有価物集団回収事業（紙製容器包装も回収）	1億692万円	
ゴミ収集運搬事業（月火曜の祝日も実施）	5億8,448万円	
不燃ゴミ処理事業（プラスチックゴミのリサイクル推進など）	3億3,573万円	
その他		
斎場建て替え整備基本構想策定	300万円	
労働費の主な事業		は新規事業
就職促進のためのスキルアップ講座開催		
ファミリー・サポート・センター運営	841万円	
勤労者福祉貸付事業	15億509万円	
前橋テルサ整備事業（雇用・能力開発機構持ち分の建物購入費など）	6,568万円	
農林水産業費の主な事業		は新規事業
農業集団組織育成対策補助	1,790万円	
経営体育成緊急対策事業補助	1,950万円	
畜産有機質資源確立対策事業	2,340万円	
簡易ふん尿処理施設整備事業	1,063万円	
高畠育成牧場閉場関連経費	1億4,174万円	
公共牧場等預託料助成事業	367万円	
県営ため池等緊急防災対策事業費負担金	1,000万円	
ふるさと農道緊急整備事業	8,850万円	
市単独農業土木	1億3,800万円	
商工費の主な事業		は新規事業
新規開業支援・経営アドバイザー派遣事業		
中心商店街支援（人がにぎわい活気ある街づくりイベント開催補助など）	30万円 1,454万円	
TMO運営事業補助	1,007万円	
商店街空洞化対策事業	696万円	
中心市街地再生推進事業	1,000万円	
広瀬川河畔街並みづくり事業	120万円	
産業振興支援施設整備事業	7,034万円	
企業誘致等促進	5億3,900万円	
中小企業融資促進	120億3,472万円	